

2020年11月25日

宮城県知事 村井 嘉浩 様

新型コロナウイルス感染症対策に関わる緊急要望書（第7回）

日本共産党宮城県委員会
新型コロナウイルス対策本部
本部長 ふなやま 由美
日本共産党宮城県会議員団
団 長 三浦 一敏

全国各地で新型コロナウイルス感染者が急増し、新規陽性者が過去最高を更新する日が続くなど、「第3波」の感染拡大が起っています。宮城県でも10月以降、専門学校での100名を超えるクラスターや、接待を伴う飲食店、医療機関・高齢者施設でのクラスターなどが相次ぎ、累計感染者が既に1000人を超え、1日の療養者数が200人を超える日があるなど予断を許さない事態が続いています。宮城県も今や深刻な局面になりつつあり、「検査・保護・追跡」の抜本的強化が必要です。

一方、新型コロナウイルス感染症による経済の悪化は雇用情勢にも影響を及ぼしています。年末にかけて中小企業の倒産・廃業が急増し、リストラ・解雇、雇止めなどの雇用危機が進行する恐れがあります。

県民の命と暮らし、生業を守るために、以下の対応を緊急に行うことを求めます。

記

1. 感染急増地（ホットスポット）となるリスクのあるところに対して、無症状の感染者を把握・保護するための大規模・地域集中的なPCR検査を行うこと。また、医療機関、介護・福祉施設、保育園・幼稚園、学校、学童保育など、クラスターが発生すれば多大な影響が出る施設等に、定期的な「社会的検査」を行い、感染拡大を事前に防止すること。

検査の財源確保のために行政検査の地方負担分は、現在新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金を充てているが、全額国庫負担とするよう国に強く求めること。

2. 急激な感染拡大に対応し、陽性者を着実に把握・保護するために、感染追跡を専門に行うトレーサーの養成・確保を図り、保健所体制を抜本的に強化すること。

県は2022年4月以降に栗原保健所と登米保健所を支所化としているが、新型コロナウイルス感染症の終息後も新たなパンデミックの危惧が専門家から指摘されており、支所化は断念すること。

3. 「医療崩壊」を絶対に起こさないために、医療機関への減収補てんを速やかに実施するよう国に強力に要請すること。また、宮城県としても医療機関への支援を強化すること。感染拡大に対応して必要な病床確保と宿泊療養施設の確保を行うこと。

N95 マスクや医療用グローブ（手袋）など感染防護具や医療用機材を速やかに医療現場に届けること。また、医療的ケアが必要な在宅患者にもグローブ等の衛生用品を支給すること。

4. 介護・高齢者福祉施設では、「自宅待機」の扱いで施設に待機している軽症者・濃厚接触者による集団感染・クラスターが発生しています。介護崩壊を防ぐために、認知症高齢者等の軽症者・濃厚接触者を隔離・保護するケア付き施設を確保すること。合わせて国に介護保険適用を求めること。

また、利用控えや受入数の減少などによる介護施設等への減収補てんを国に求めるとともに、宮城県としても実施すること。

5. 新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金を保険薬局や保育園、学童保育、児童養護施設等にも支給すること。特に仙台市や富谷市等が独自の慰労金を保育園等に支給していることから、宮城県と他の市町村が連携して保育所に支給できるよう協議すること。

6. 一人ひとりの子どもの学びと心身のケア、感染対策をはかるために、少人数学級の実施に踏み出すこと。再任用を希望する退職教員が少なくなっているが、不登校や発達障がいなど手厚い支援が必要な子どもに対応するため、短時間勤務の退職教員を定数外で配置すること。

冬場の手洗い徹底のため、学校にお湯が出る手洗いを設置すること。

7. 第2弾の持続化給付金の支給や、休業支援金・給付金や家賃支援給付金の給付が速やかに行われるよう国に要請すること。また、雇用調整助成金の特例措置や休業支援金・給付金の来年1月以降の継続や、住居確保給付金（最大9か月）の更なる延長を国に強く求めること。

8. ひとり親世帯臨時特別給付金を年の瀬に向けて再度支給するよう国に要請すること。また、子どものいる低所得世帯に対する県独自の給付金を支給すること。

9. 社会福祉協議会が行っている緊急小口資金等特例貸付の受付期間及び総合支援資金の特例期間の更なる延長のための予算措置を国に求めること。特に総合支援資金の特例措置は、すでに延長の3ヶ月分も終了する人が出てきており、速やかに更なる延長措置を講ずること。

10. 全国一律の「Go To キャンペーン事業」はやめ、事業を抜本的に見直すよう国に強く要請すること。事業者から引き続き要望が出ている中小企業再起支援事業の第3次募集を行うこと。県産品の販路開拓を支援するため、オンライン商談会やリモート営業などへの支援を行うこと。

以上